

役割

「こども若者★いけんぷらす」の運営に、ともに携わるこども・若者として、こども家庭庁とともに、課題の洗い出し・設定、解決策の検討や実行を通して、事業改善に取り組む。

「みんなのパートナー ぽんぱー」の由来

『みんなのパートナー』はこども達と対等な関係で寄り添う存在であることを示す言葉、『ぽんぱー』はポンプのように意見をくみ上げていく役割をイメージさせる言葉として、ぽんぱーが考えたものです。

令和7年度募集や選考の結果

<募集期間>

4月11日(金)～5月7日(水)

<応募者数>

60人(ぷらすメンバーから募集)

<選考方法>

以下2点の作文(各400字)及び面談等による選考

- ・ぽんぱーとして活動したいと思った理由
- ・ぽんぱーとしてやりたいこととその理由

<選考結果>

計12人

年代別:中学生3人、高校生年代4人、大学生・大学院生3人、
社会人2人

男女比:男性6人、女性6人

地域別:北海道・東北:2人、関東:6人、近畿1人、中国・四
国:1人、九州:2人

新規・継続:昨年度から継続3名、新規9名

具体的な取組の内容

※活動期間:令和7年8月～11月(予定)(活動回数:全5回)
各回10:00～16:00(1時間のお昼休憩含む)

※開催方法 ハイブリッド

ぽんぱー各回テーマ

第1回 8月2日(土)	いけんぷらすの認知度の向上策について
第2回 9月7日(日)	いけんぷらすの登録率向上について
第3回 10月4日(土)	いけんひろばへの参加のしやすさについて
第4回 11月8日(土)	フィードバック・資料のありかたについて
第5回 11月30日(日)	今後のぽんぱー、いけんぷらすのあり方について

議論の活用先(予定)

- ・令和7年度事業の運営方法(SNS広報等を含む)
- ・令和8年度事業の運営、調達仕様書 等

第1回会議の結果

第1回会議において、中学生の認知向上及び登録促進を目的として、事業を紹介するA2判ポスター及び名刺型のチラシを全国の中学校に配布することが決定した。

第一回ミーティングで決まったこと ポスター・チラシを全国の中学校に配る

全国の各中学校に配るもの
・A2判ポスター(2枚)
・カード型チラシ(500枚:全員分)

学校に知らせる内容文と一緒に考えてもらえると、うれしい！

カード型チラシについては、デザイン費も含め見積もりをして予算内で実施できるよう検討しているところだよ！

デザインは分かりやすく、二次元コードもぷらす！

学校以外の居場所などにも配布できるよう相談しているよ！

配ったチラシから、ぷらすメンバーに登録してくれたかどうか調べられる方法を確認中！



学校種別	校数（全国）
中学校	9,882校
義務教育学校（後期課程）	238校
中等教育学校（前期課程）	59校
特別支援学校（中学部）	1,191校
学びの多様化学校（中学生対象）	58校
合計（見積対象校数）	11,428校

第2回会議の結果

第2回会議では、認知から登録へ進んでもらうために、どんなことが登録へのハードルとなっているのかを洗い出し、解決のための対応策と取り組む優先度を議論・整理した。

すぐに改善できること

- ①反映内容をWeb、ホームページで示す
- ②フィードバック資料を改善する。(第4回での議論?)
- ③自治体での取組との連携(互いの周知広報)、ひろばの地方開催を増やす
- ④ぽんぱーによる広報

2025年度の運営の中で改善(～2026年3月)

すぐにはできないけど、やるべきこと

- ①反映内容をポスターで示す(QR搭載など)
- ②年齢確認を経ずとも仮登録を可能に
- ③ぷらすめんばーであるデジタル証明書の発行
- ④自治体でのいけんひろば開催を増やす
- ⑤HPの修正(Q&Aをわかりやすくする など)

2026年度のいけんぷらすの改善(実施:2026年4月～2027年3月)

*例:来年度いけんぷらすで何をするか、何を変えるかの検討会議(11月頃～)で議論する
来年度いけんぷらすの仕様書に盛り込む

今後目指していきたいこと

- ①意見係のみでなくこども家庭庁全体に対して、関わっている実感が湧く・また相談したいと思えるような返答・リアクションがあること。
- ②アプリ導入

2027年度(実施:2027年4月～2028年3月)

*例:実現に向けて検討して、2027年度の予算要求に盛り込む